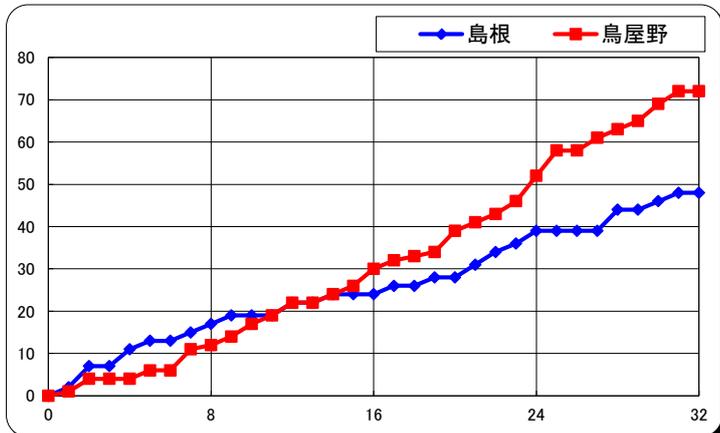




THE 44th ALL ALL JAPAN  
Jr HIGH SCHOOL

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市総合体育館																
日時	平成26年8月23日(土) 13:30																
コート	TBコート 第4試合																
カテゴリー	男 予選リーグF																
主審	水谷 有志 (香川)																
副審	長谷川隆司 (埼玉)																
Team A		Team B															
島根	48	72 鳥屋野															
● 島根	<table border="0"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>7</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>15</td><td>3rd</td><td>22</td></tr> <tr><td>9</td><td>4th</td><td>20</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	17	1st	12	7	2nd	18	15	3rd	22	9	4th	20		OT		○ 新潟
17	1st	12															
7	2nd	18															
15	3rd	22															
9	4th	20															
	OT																

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A		島根					
番号	選手名	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	福島 洸星	×	13	1	4	2	3
5	小川 智樹	×	13	0	6	1	4
6	小谷 快斗	×	4	0	2	0	3
7	岡坂 耀	×	0	0	0	0	1
8	川本 昌平	/	3	0	1	1	2
9	青木 雄佑	×	9	1	3	0	1
10	新井 司	DNP	0	0	0	0	0
11	藤城 七凧	/	6	0	3	0	1
12	角田 慎平	DNP	0	0	0	0	0
13	大西 渉太	DNP	0	0	0	0	0
14	矢田 幸輝	DNP	0	0	0	0	0
15	朝倉 龍	DNP	0	0	0	0	0
16	高井 喜彦	DNP	0	0	0	0	0
17	楨原 欣晟	DNP	0	0	0	0	0
18	奥村 日向	DNP	0	0	0	0	0
監督	高橋 千治						0
コーチ	中田 充繁						0
合計			48	2	19	4	15

Team B		鳥屋野					
番号	選手名	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	平尾 剣弥	×	13	1	4	2	0
5	吉川 昇吾	/	4	0	2	0	2
6	吉田 韻希	×	16	0	4	8	3
7	石川 大夢	×	14	1	5	1	2
8	松本 うみ	×	5	0	2	1	3
9	鶴巻 魁	×	6	2	0	0	4
10	田野平剛志	DNP	0	0	0	0	0
11	石田 真大	/	3	1	0	0	1
12	祝 峻太郎	DNP	0	0	0	0	0
13	中島 凌河	/	0	0	0	0	0
14	小池 文哉	/	11	3	1	0	0
15	品川 廉椎	DNP	0	0	0	0	0
16	大滝 蘭真	DNP	0	0	0	0	0
17	田中 柊斗	DNP	0	0	0	0	0
18	石川 新	DNP	0	0	0	0	0
監督	堀 里也						0
コーチ	前田健太郎						0
合計			72	8	18	12	15

【戦評】

中国ブロック代表島根と北信越ブロック代表鳥屋野の一戦。両チームマンツーマンDefでスタート。鳥屋野#8のフリースローで先制。両チームともに厳しいDefから速攻へつなげる速い展開でゲームが進む。島根はオールコートの2-2-1Defから3-2のマッチアップゾーンDefを織り交ぜながらプレッシャーをかけ、#9の連続得点などで鳥根13-6鳥屋野とリードを広げる。鳥屋野も#4のドライブインからバスケットカウントなどで応戦し、1Qを鳥根17-12鳥屋野で終了。2Q、鳥屋野が速い展開から追い上げ、2分に同点。その後、一進一退の攻防が続くが、残り2分、鳥屋野#6のリバウンドシュートで突き放し、鳥屋野30-24鳥根で前半終了。

3Qもお互いオールコートでプレッシャーをかけ、ボールを奪っては速攻につなげる。鳥屋野は#6、#7の得点で勢いに乗り、鳥根を一気に突き放す。一方、鳥根は#4の優れた能力を生かし1対1を仕掛けて得点する。鳥屋野は果敢にダブルチームでボールを奪うと#4の速いボール運びから速攻につなげて行く。3Q残り1分鳥屋野は#4から#6へのアシストなどで得点を重ね。鳥屋野53-39鳥根で3Q終了。4Q、鳥屋野はインサイドで#6がリバウンドに活躍する。勢いに乗った鳥屋野は、攻撃の手を緩めることなく#6、#9、#4の連続3Pで一気にリードを広げ、その後も着実に得点を重ね、鳥屋野72-48鳥根で鳥屋野が勝利を飾った。

【戦評記入者】

満嶋 吉伸